

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成24年10月2日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 日本学術振興会「博士課程教育リーディングプログラム」に採択
2. 文部科学省「留学生交流拠点整備事業」に採択
3. 南極昭和基地と生中継 - 附属学校で「南極教室」を開催 -
4. 松浦恵さん(地域教育文化学部3年)声楽コンクールで第1位
5. 山形大学が「子どものまち・いしのまき」に参加
6. 東北・山形の街作りについて考える市民の会「ボローニャの会」が
中間報告を発表

お 知 ら せ

1. 奥の細道マイスター養成講座(初級)のご案内
2. 大学教育改革地域フォーラム2012in山形大学の開催
3. 氷期-間氷期の気温変動に硫酸塩エアロゾルが寄与していたことを解明

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成24年10月16日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

飲酒運転撲滅のための講習会

キャンパス名	日 時	場 所	備 考
小白川キャンパス	10月19日(金) 16時30分 ~ 17時30分	基礎教育2号館 221号室 222号室	
飯田キャンパス	10月12日(金) 17時15分 ~ 18時15分	医学部大講義室 ・医学部第五講義室 ・山形医学交流会館	
米沢キャンパス	10月17日(水) 16時30分 ~ 17時30分	大示範教室	
鶴岡キャンパス	10月22日(月) 16時30分 ~ 17時30分	301講義室	

取材等につきましては、総務部広報室(023-628-4005)まで、事前に連絡をお願いいたします。

平成24年10月2日
山形大学

日本学術振興会「博士課程教育リーディングプログラム」に採択

「博士課程教育リーディングプログラム（オンリーワン型）」に、全国から38件の申請があり、山形大学が採択されました。（採択件数5件）

目的等

本事業は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進することを目的としています。

また、本学が採択されたオンリーワン型は、新たな分野を拓くリーダーを養成するため、世界的に独自かつ当該大学で最も国際的優位性ある学位プログラムの構築を目的としています。

（申請上限額：年間300,000千円×7年（初年度半額））

採択された事業

プログラム名称：「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」

有機分子やポリマーといった有機材料は、この30年の研究展開で優れた機能の付与が可能となり、金属やセラミックを代替し凌駕しうる夢の万能材料へと成長を遂げつつあるが、低コスト化、フレキシブル化など解決すべき課題は山積しており、有機材料を最大活用し、新たな付加価値をもつシステムを創成するには、有機材料に関わる様々な物理・化学・生物学的現象を理解し、複雑なシステムを目的に合わせて構築・制御する必要があります。

そこで、本学では未開の学問領域としてフロンティア有機材料システム分野を創成し、高度な専門性、実践的価値創成力及びグローバル企画コミュニケーション能力を持つ「価値創成グローバルリーダー」を養成するプログラムを実施します。

本プログラムでは、大学院理工学研究科において学生定員12名、5年一貫の博士教育コースでフロンティア有機材料システムに関する高度な専門教育を行うもので、講義・実習・専攻をフレックス制にするとともに、価値創成キャリアデザイン科目を開設します。

本プログラムは、国際的な研究拠点である有機エレクトロニクス研究センターなどの本学が誇るユニークな世界的教育研究資源を集結して教育を行うものです。

・事業実施期間

平成24年度～平成30年度

（お問合せ先）

山形大学工学部事務部
学務課（教育支援担当）
電話 0238-26-3015

山形大学大学院理工学研究科 フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 ～ 価値創成グローバルリーダー養成～

養成したい人材像

5年一貫プログラムでは、産学官にわたり活躍する次の4つの資質を備え、フロンティア有機材料システム分野を創生する価値創成グローバルリーダーを育成する

- (1) エネルギーや環境に対する高い問題意識と地球規模の福祉増進を目指す未来志向の使命感にあふれる人材
- (2) 有機材料工学を主とし、電気電子工学、システム工学の基盤知識を備えた高度な専門性を駆使できる人材
- (3) 科学的視点と経済的視点、マクロな視点とミクロな視点、などの複眼的思考を持ち価値創成実践力を兼ね備えた人材
- (4) 国際交渉を有利に進めるグローバル企画コミュニケーション力を兼ね備えた人材

プログラムの特色

高い問題意識と未来志向の使命感を育てるために、大学院キャリアデザインセミナーで入学当初から学位取得後の価値創成グローバルリーダーとしてのイメージを明確化させ、そのために必要な5年間の履修計画を作成させ評価する**(価値創成のための履修計画の作成評価)**。

第二に、多種多様な履修計画に対応するため、大学院開講の全科目から院生が柔軟に科目を履修できるようにシステムを改良する**(履修システムのフレックス化)**。

第三に、価値創成実践力を修得するための価値創成キャリアデザイン選択科目(課題発見、解決法の決定と実行、自己評価を自ら行う演習、例えば、**価値創成PBL**、**国際シンポジウムの企画運営**など新たに配置する**(価値創成キャリアデザイン科目の新設)**。

社会人や留学生の多様な院生構成による自然なコミュニケーション力向上をねらって、土曜授業やe-learning、院生寮で、学びの機会をグローバル化に対応させる**(学習機会のフレックス化)**。学生間で切磋琢磨する環境を整備するため、優秀な学生については、5年の修業年限を4年で終える「課程修了の特例」を適用する**(早期学位授与システムの活用)**。

フレックス大学院生には、学生の修学補助として、奨励金の給付、授業料・寮費の免除を行う。

3年前の教育改革で誕生した国立大学初のフレックスコースである山形大学工学部システム創成工学科は、グローバル化を意識した価値創成教育により高い成果をあげつつある。この流れを受け、本大学院を本学部フレックスコースの大学院版としての意味も込め、「フレックス大学院」と略称する。



平成24年10月2日
山形大学

文部科学省「留学生交流拠点整備事業」に採択

文部科学省が外国人留学生の受入促進のために今年度から開始した「留学生交流拠点整備事業」に、山形大学が採択されました。

この事業は、地方自治体、経済団体、NPO、ボランティア団体などが連携し、外国人留学生と日本人学生、地域の住民、児童・生徒、企業などとの交流を深めながら、地域ぐるみで外国人留学生の生活や就職を支援し、留学生の参加を伴った形での地域の活性化、まちづくり、教育支援、観光振興を行うものです。今回採択された先進的な取り組みを「モデル」とし、この波及効果を通じて日本の留学生交流の推進及び強化を図ることを目的としています。

山形大学工学部の国際交流センターでは、これまでに留学生を対象にしたサマープログラム、インターンシップ、地域交流などを積極的に展開してきました。また理工学研究科ものづくり技術経営学専攻では、外国人留学生の山形県内企業への就職を通じた国際展開力の強化、「もっとみらいコンソーシアム（産学官連携の留学生支援団体）」を介した地元企業・地域社会のグローバル化支援や奨学金制度の創設・給付などを実施してきました。今回の採択は、山形大学におけるこれまでの取り組みが高く評価されたことによるものと思われます。

本事業では、工学部に限らず山形大学全体及び県内の他大学を対象に、就職説明会、企業見学、ボランティア体験、アルバイト情報の提供、地域交流推進といった仕組作り事業、交流事業、支援事業、留学生活用事業を展開します。また留学生による山形県の観光情報の多言語発信などに取り組みます。これらの活動を通じて、山形県内の企業・行政・学校・銀行・県民等と連携した形で、留学生と一体となったまちづくり、地域社会の国際化、留学生の受入拡大を推進します。さらに外国人留学生の活動領域を広げることで、東日本大震災からの復興にも貢献し、日本人学生のグローバル能力の育成にも繋げていきます。

文部科学省：「留学生交流拠点整備事業」の選定結果について

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1325934.htm

(お問合せ先)
山形大学渉外部国際交流室
三宅和広
電話 023-628-4118
山形大学大学院理工学研究科
仁科浩美・綾部誠
電話 0238-26-3371

平成24年10月2日

山形大学

南極昭和基地と生中継 - 附属学校で「南極教室」を開催 -

南極観測の意義や自然環境等を広く理解するために、下記のとおり「南極教室」を開催いたします。子ども達は、地球環境や地球の歴史、さらには宇宙の謎にせまる南極観測の現在を知り、自然への関心がますます高まることでしょう。

記

【開催日時】 平成24年10月12日(金) 15:00～15:45

【会場】 山形大学附属小学校 体育館

【対象】 山形大学附属小学校 6年生 119名
山形大学附属中学校 2年生 40名

【内容】 山形大学附属小学校と南極の昭和基地を回線をつなぎ、昭和基地の生中継や観測隊の活動等の説明、児童・生徒からの質問が主な内容となります。

昭和基地内部の説明

観測隊の説明

南極に関する質問と回答 等

南極昭和基地での司会進行は、現在、第53次南極地域観測隊(越冬隊)の一員として、南極地域観測事業に参加している、本学職員の鈴木毅さんが担当します。

鈴木さんは、2011年11月30日に南極に向けて出航し、2013年3月に帰国予定です。

なお、鈴木さんの活動状況については、「鈴木毅の南極通信」として本学ホームページから発信中です。

(お問合せ先)

山形大学附属小学校

教頭 江口 俊和

電話 641-4444

平成24年10月2日
山形大学

松浦恵さん（地域教育文化学部3年）声楽コンクールで第1位

山形大学地域教育文化学部音楽芸術コース3年の松浦恵さんが、9月22日に開催された『第4回東京国際声楽コンクール大学生部門』において第1位・東京新聞賞を獲得しました。本学部では在学中の全国コンクール第1位入賞は初めての快挙です。

1. 松浦さんのプロフィール・これまでの歩み

- 山形市生まれ、金井小、金井中から山形北高音楽科へ進学してフルートを専攻した。その後、宮城学院女子大学音楽科(フルート専攻)に入学するが、1年次途中で声楽転向を決定し同大学を退学して、翌年山形大学地域教育文化学部音楽芸術コースへ声楽専攻として入学。
- 本年3月山形市中央公民館ホールで開催された学生オペラ公演「コシ・ファン・トゥッテ」においてドラベツラ役に抜擢され、見事にその大役を演じ切った。

2. コンクール入賞の経緯

- 本年5月より「東京国際声楽コンクール」への挑戦を目指して準備を進めてきた。
- 8月4日に仙台市で開催された南東北予選では、グルック作曲の「エウリディーチェを失って」を演奏し、予選通過を果たした。
- 8月30日に東京：亀戸文化センター・カメラリアホールで開催された【東日本准本選】でも予選と同じアリアを演奏し、トップの成績で本選へ進んだ。
- 9月22日に東京：イタリア文化会館アネッリホールで開催された【本選】では、ベッリーニの歌曲「美しいニーチェ」とドニゼッティのアリア「いとしいフェルナンド」の2曲を演奏し、8名の審査員の中の5名が1位とする高水準の演奏を披露し、見事第1位に輝いた。

3. 今後の抱負

- 今後は3年後期の公開試験での演奏、来年3月2日の学生オペラ公演グルック作曲『オルフェオとエウリディーチェ』のオルフェオ役に全力で取り組みたい。
- 将来は沢山の方々に感動していただけるような歌手になれるように勉強を続けていきたい。

東京国際声楽コンクールは東京国際芸術協会が主催するコンクールで、予選を全国20ヶ所、准本選が東日本、西日本の2回、そして本選という流れで開催されている。

（お問い合わせ）

地域教育文化学部音楽芸術コース
藤野

電話：023(628)4330



第4回 東京国際 声楽コンクール

The 4th Tokyo International Vocal Music Competition

本コンクールの主な特徴 (詳細規定は各項目欄を参照の事)

- 【曲目重複】 予選演奏曲を准本選または本選で再演できる。
- 【選曲範囲】 声楽発声で歌う限り選曲範囲は広く捉える。
- 【演奏言語】 原語が原則だがオペレッタ部門は邦訳可。
- 【制限時間】 作品の趣旨を尊重し、極力柔軟に対応する。
- 【予選免除】 過去の予選通過者が同部門で受験する場合、予選が免除される(愛好者部門は除外)。
- 【公式伴奏者】 遠隔地受験等に配慮し、声楽伴奏の経験豊かな公式伴奏者を配置する(希望制)。
- 【予選不合格者】 他地区で再受験できる(受験料半額)。
- 【事前リハーサル】 前日・当日声出し会場を極力用意する。

昨年との変更点

- 【部門新設】 部門の年齢構成を変更。歌曲部門とアンサンブル部門新設(これに伴いオペレッタ部門の重唱参加は廃止)。
- 【複数部門受験】 年齢条件等に矛盾しない限り、複数部門の受験を可能とした。
- 【予選会場増設】 全国各地の予選会場を19か所に増やした(昨年9か所)。
- 【予選参加費値下げ】 各部門の予選参加費を値下げした。

実施部門及び参加資格

- 高校生部門 高校1年生～3年生、および満20歳以下の大学受験浪人生
- 大学生部門 満24歳以下の大学1～4年生(短大・短大専攻科・専門学校等を含む)
- 新進声楽家部門 満21歳以上26歳以下で声楽の専門教育を受けた方
- 一般部門 満22歳以上で声楽の専門教育を受けた方
- 声楽愛好者部門A 満39歳以下の方 ■声楽愛好者部門B 満40歳以上の方
- オペレッタ部門 ■歌曲部門 ■アンサンブル部門 年齢制限及び年齢別の部門は設けない

課題曲

- 予選・准本選(全部門共通): 6分以内の自由曲1曲 ■本選(大学生・新進声楽家・一般部門): 自由曲1曲、およびオペラまたはオラトリオアリア1曲で合計12分以内 ■本選(オペレッタ・歌曲・アンサンブル部門) 各分野内の自由曲2曲で合計8分以内 ■本選(高校生・声楽愛好者部門) 6分以内の自由曲1曲

開催期日・会場 (公開・観覧無料・入場券不要)

■予選			
北九州	6/30(土)	宮崎県/宮崎市	清武町文化会館小ホール
北九州	7/1(日)	福岡県/福岡市	福岡女学院ギール記念講堂
関西	7/7(土)	兵庫県/神戸市	灘区民ホール
中部	7/8(日)	愛知県/名古屋	名古屋芸術大学東キャンパス3号館ホール
北海道	7/10(火)	北海道/江別市	えぼあホール
四国	7/21(土)	香川県/高松市	高松第一高校ホール
東中国	7/22(日)	岡山県/倉敷市	くらしき作陽大学聖徳殿
西中国	7/22(日)	広島県/広島市	エリザベト音楽大学ザビエルホール
関東	7/24(火)	東京都/江東区	亀戸文化センター・カメラアホール
関東	7/26(木)	東京都/江東区	亀戸文化センター・カメラアホール
沖縄	7/28(土)	沖縄県/南城市	シュガーホール
上信越	7/30(月)	群馬県/高崎市	高崎シティギャラリー・コアホール
北陸	7/31(火)	石川県/小松市	こまつ芸術劇場うらら小ホール
南東北	8/4(土)	宮城県/仙台市	常盤学園・シュトラウスホール
北東北	8/5(日)	岩手県/盛岡市	盛岡市民文化小ホール
南関東	8/6(月)	神奈川県/横浜市	みなとみらい小ホール
東海	8/7(火)	静岡県/静岡市	常葉学園短期大学オレンジホール
東関西	8/8(水)	京都府/京都市	京都堀川音楽高校ホール
北関東	8/11(土)	埼玉県/さいたま市	市民会館うらわホール
西東京	8/12(日)	東京都/東大和市	東大和市市民会館ハミング小ホール
■東日本准本選			
	8/30(木) 8/31(金)	東京都/江東区	亀戸文化センター・カメラアホール
■西日本准本選			
	9/1(土) 9/2(日)	兵庫県/篠山市	篠山市立たんば田園交響ホール
■本選			
	9/22(土) 9/23(日)	東京都/千代田区	イタリア文化会館アネッリホール

審査員

- 審査委員長: 川上洋司(東京芸術大学教授・東京音楽大学講師)(全准本選・本選)
- 事務局長: 田辺とおる(名古屋芸術大学客員教授・国立音楽大学講師)(全予選・准本選・本選)
- 本選審査員: 佐藤美枝子(上野学園大学教授) 田口宗明(武蔵野音楽大学教授) 小泉恵子(国立音楽大学教授) 大橋ゆり(桐朋学園大学准教授) 大勝秀也(指揮者、スウェーデン・マルメ歌劇場元音楽監督) 池田卓夫(音楽ジャーナリスト・日本経済新聞記者)
- 東日本准本選審査員: 山口道子(武蔵野音楽大学教授) 緑川まり(東京音楽大学准教授) 下原千恵子(国立音楽大学准教授) 國土潤一(音楽評論家)
- 西日本准本選審査員: 斉藤言子(神戸女学院大学教授) 田中由也(大阪音楽大学教授) 瀬野光子(大阪芸術大学教授) 木川田温子(京都市立芸術大学講師)
- 予選審査員: 全国の音楽大学・音楽高校声楽教員総計78人

賞・副賞

賞	賞品	賞金(単位円)							
		一般	新進声楽家	大学	高校	アンサンブル	オペレッタ	歌曲	声楽愛好者 A/B
本選	1位	300,000	150,000	150,000	100,000	80,000	50,000	50,000	
	2位	100,000	50,000	50,000	30,000	40,000	30,000	30,000	
	3位	50,000	30,000	30,000	20,000	20,000	20,000	20,000	

- ほか、奨励賞・審査員特別賞・神戸新聞社賞・東京新聞賞・ドレミ楽譜出版賞など
- 副賞: 東京国際芸術協会演奏家会員登録・東京国際芸術協会主催演奏会・オペラ公演等に出演推薦、および主催リサイタル企画・ロシア国立モスクワ国立音楽院、ドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学、スイス国立チューリッヒ音楽大学、ウィーン国立音楽大学、ドイツ国立ケルン音楽大学等の各大学短期マスタークラスへの学費を助成する。また東京国際芸術協会主催の各種の国内講習会参加を優待する。

入選・入賞者演奏会

- 2012年12月1日(土) 日暮里サニーホール
伴奏: 東京国際芸術協会管弦楽団 指揮: 珠川秀夫
- 2013年1月14日(月・祝) 灘区民ホール 「NADA ニューイヤーオペラコンサート」
伴奏: 丸山勝次(ピアノ)

提携

- 共催: 【西日本准本選】篠山市立たんば田園交響ホール/【関西予選】神戸市立灘区民ホール
- 協力: 【本選】イタリア文化会館/【北九州予選】福岡女学院高等学校/【中部予選】名古屋芸術大学音楽学部/【四国予選】高松第一高等学校/【東中国予選】くらしき作陽大学音楽学部/【西中国予選】エリザベト音楽大学/【南東北予選】常盤学園短期大学/【東関西予選】京都堀川音楽高等学校/《オペラ劇場あらかわパイロイト》/江東オペラ
- 協賛: 株式会社ドレミ楽譜出版社/東京音楽学院
- 後援: 宮城県/北海道/岡山県/沖縄県/群馬県/東大和市/宮崎日日新聞社/神戸新聞社/サンテレビジョン/中日新聞/北海道新聞/山陽新聞社/東京新聞/琉球新報社/桐生タイムス社/北国新聞社/河北新報社/岩手日報社/静岡新聞社・静岡放送/【下記各自治体教育委員会】宮城県/福岡県/愛知県/名古屋/江別市/岡山県/倉敷市/南城市/群馬県/宮城県/仙台市/岩手県/静岡県/京都府/埼玉県/さいたま市/東大和市

主催・お問合せ・要項請求・応募先

一般社団法人 東京国際芸術協会
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 6-13-12 TIAA ビル
TEL.03-3809-9712 FAX.03-3809-9711
http://www.tiaa-jp.com/tivmc/ info@tiaa-jp.com

要項請求 東京国際芸術協会 宛 FAX:03-3809-9711

詳細な要項を無料でお送りいたします

氏名	住所(〒)	第4回東京国際声楽コンクール 要項部数 部
----	--------	--------------------------

平成24年10月2日

山形大学

山形大学が「子どものまち・いしのまき」に参加

山形大学は、3.11震災復興・協働イベント「子どものまち・いしのまき」～石巻ではじまる、子どもが主役の子どものまちに～に参加します。

当日は、山形大学の学生・教員が、子どもの“やりたい”を応援、お手伝いをします。

全国各地で開催されている「子どものまち」を、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市で、商店街を舞台に開催します。

山形大学のほか震災復興支援活動を行う20以上の団体が協働し、「子どものまち・いしのまき」を企画しました。

「子どものまち」とは、ドイツ・ミュンヘンで開催された「ミニ・ミュンヘン」をきっかけに世界に広がった、子どもたちが公共機関や行政、お店など各種サービスを提供する会社をつくり、働き、お金を稼ぎ、遊んだり買い物したりする、教育機関では学べない実体験型の学習プログラムです。

津波の被害のあった店舗や空き地、駐車場や道を活用して、実際のまちが『子どもの主役のまち』に大変身します。

【開催日時】 10月13日(土),14日(日) 10時～15時

【開催場所】 アイトピア通り界限 (宮城県石巻市中央)

【内 容】 子どもが主役の子どものまち。子どもたちが食べもの屋さんから、銀行、ハローワークを運営し実経済を学べる「まち体験交流活動」です。子どもたちひとりひとりが自分のしたいことをみつける楽しい子どものまち。

【参加費】 無料

(お問合せ先)

山形大学地域教育文化学部

佐藤 慎也

電話 628-4377



石巻ではじまる、子どもが主役の子どもたちのまち・いしのまき

まち・いしのまき

おしごとって、うれしいたのしい!

ひとりひとりが主役になれるまち。
子どもたちで考えた仕事やメニューが並びます。
受付でパスポートをもらったらまずはやりたい仕事探し。
仕事してお金を貯めたらみんなのつくったものを選んだり、使ったり、買うこともできる。

子どもだけで参加する場合は、お弁当をもってきてね! 家族で参加する場合は、近くにおいしいお店があるから行ってみてね!

時間/10:00から15:00 場所/イトピア通り界隈(石巻市中央2丁目)

14日はプレイカーがぞくぞくやってくる!!

ストリートパーティ

親も子どもと一緒に、今日だけは「まち」であそぼう!!
石巻で活躍している「遊びを出前している車」が大集合するよ。
昔遊びや楽器遊び、コリントゲームやエアホッケー、丸太切りや工作など、いっぱい遊びができるよ。
歌って、踊って、寝ころんで、みんなで遊びましょう!!

無料巡回バスも出るよ!

2012年10月13日(土)・14日(日)

主催/子どものまち・いしのまき実行委員会 代表/子どものための石巻市民会議
協力/公益財団法人日本ユニセフ協会・子どものまち(ミニさくら)・こども未来フォーラム(せんだいこどものまち)・(株)竹中工務店 など
後援/石巻市・石巻商工会議所・石巻市教育委員会・石巻市PTA協議会・石巻市子ども会育成会・三陸河北新報社・石巻日日新聞社・ラジオ石巻FM76.4・(株)街づくりまぼろ
[子どものまち・いしのまき実行委員会]共催団体一覧
子どものための石巻市民会議・イトピア商店街振興組合・山形大学地域教育文化学部SCITAセンター 特定非営利活動法人コドモ・ワカモノまちing・ピースポートセンターいしのまき・一般社団法人ISHINOMAKI2.0・特定非営利活動法人ベビースマイル石巻・特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会・一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会・一般社団法人プロジェクト結コンソーシウム・石巻専修大学復興共生プロジェクト・特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク・特定非営利活動法人MAKE THE HEAVEN組JAPAN・亀ヶ森冒険遊び場・西公園プレーパークの会・特定非営利活動法人にじいろクレヨン・ワタノハスマイル・TOKYOPLAY・東京芸術大学毛利嘉孝研究室・特定非営利活動法人冒険あそび場 せんだい みやぎネットワーク

URL <http://ishinomakids.com> MAIL info@ishinomakids.com

PRESS RELEASE

発信元: 子どものまち・いしのまき 実行委員会
(子どものための石巻市民会議 代表 戸田)
TEL&FAX: 0225 - 22 - 0204
MAIL: info@ishinomakids.com

子どものまち・いしのまき ~石巻ではじまる、子どもが主役の子どものまち~

宮城県石巻市の商店街で、子どもたちが主役になる2日間!

子どもたちの思いや夢、創造性や主体性、感性など本来の子ども力を引き出し、まちの仕組みや様々な職業を体験しながら、ワクワク・ドキドキの遊び場&学び場にするイベントを開催。



東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市。今回、全国各地で開催されている「子どものまち」を、石巻市の商店街を舞台に開催しようと、現地で震災復興支援活動を行う20以上の団体が協働し、「子どものまち・いしのまき」を企画した。

「子どものまち」とは、ドイツ・ミュンヘンで開催された「ミニ・ミュンヘン」をきっかけに世界に広がった、子どもたちが公共機関や行政、お店など各種サービスを提供する会社をつくり、働き、お金を稼ぎ、遊んだり買い物したりする、教育機関では学べない実

体験型の学習プログラム。子どもたちでつくる子どもたちのまちをいう。

石巻での開催は1回目となる今回は、子どもの参画による震災復興まちづくり活動の一環として位置付け、まちの中のコミュニティスペースや空き地、道などをお借りして開催する。石巻の未来をつくっていく子どもたちが、まちの仕組みを学び、まちに親しむ事で、自分たちのまちに誇りを持ち、まちに積極的に参加していくためのきっかけになることを目指して企画されたこのイベント。子どもたちのアイデアや取り組みを、まちの復興につなげようと、石巻で子どもに関する活動を行っているNPOや大学と、開催場所となる商店街等との有機的な協働により準備を進めてきた。

14日には、子どもも大人も一緒に「みち」で遊べる、1日限定の「ストリートパーティー」も同時開催。様々なプレイヤーやブレイトラック等を集結して道遊び・まち遊びをする。子どものまち・いしのまきに参加できない小さな子を対象とした遊び場、昼食スペースや各種催し物(子ども歌手、子どもファッションショー)なども行う。13日、14日は石巻市内を「子どものまち・いしのまき」専用巡回バスを運行する。

<子どものまち・いしのまき 概要>

【開催日時】10月13日(土)、14日(日) 10時~15時

【開催場所】aitopia通り界限 (宮城県石巻市中央)

【内容】子どもが主役の子どものまち。子どもたちが食べもの屋さんから、銀行、ハローワークを運営し実経済を学べる「まち体験交流活動」です。子どもたちひとりひとりが自分のしたいことをみつける楽しい子どものまち。

【参加費】無料(参加申し込みは不要です。当日受付までおこしください。)

詳細はHP又は、チラシをご確認ください

主催: 子どものまち・いしのまき実行委員会

共同開催団体: 子どものための石巻市民会議、山形大学地域教育文化学部・SCITAセンター、特定非営利活動法人コドモ・ワカモノまちing、ピースポートセンターいしのまき、一般社団法人ISHINOMAKI2.0、特定非営利活動法人ベビースマイル石巻、特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会、一般社団法人プロジェクト結コンソーシアム、石巻専修大学復興共生プロジェクト、特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク、特定非営利活動法人MAKE THE HEAVENめ組JAPAN、亀ヶ森冒険遊び場、西公園プレーパークの会、特定非営利活動法人にじいろクレヨン、ワタノハスマイル、TOKYO PLAY、東京芸術大学毛利嘉孝研究室、特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだいみやぎネットワーク、aitopia商店街振興組合

後援: 石巻市、石巻商工会議所、石巻市教育委員会、石巻市PTA協議会、石巻市子ども会育成会、三陸河北新報社、石巻日日新聞社、ラジオ石巻FM76.4、(株)街づくりまんばん

協力: 公益財団法人日本ユニセフ協会、NPO 子どものまち(ミニさくら)、こども未来フォーラム(せんだいこどものまち)、(株)竹中工務店

このPRESS RELEASEに関するお問い合わせ

子どものまち・いしのまき実行委員会

担当: 梅田 綾 (Ishinomaki2.0所属)、松村 淳一 (ピースポートセンターいしのまき所属)

TEL&FAX: 0225 - 22 - 0204 MAIL: info@ishinomakids.com

プレス関係者の方は事前に一度ご連絡ください

平成24年10月2日
山形大学

東北・山形の街作りについて考える市民の会「ボローニヤの会」が 中間報告を発表

東北に根ざし東北を描いた作家・作品を広く取りあげ、そこに記された言葉を復興に立ち向かうための勇気と希望の灯とするプロジェクト『いま、言葉を東北の灯に』の「ボローニヤの会」が中間報告

ボローニヤの会は山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」の一環として始まりました。

山形県川西町出身の作家・劇作家井上ひさしさんの『ボローニヤ紀行』に学ぶためにこの名がつけられています。

昨年10月に第1回の会があり、月1回の会合を重ねています。年会費も規約もなく市民が自由意志で参加するゆるやかな会です。

会員有志の発表とディスカッションを基本とし、ゲストを招いての講演などを通して、震災後の東北・山形街づくりについての提言をまとめています。

来年最終の提言を発表する予定ですが、発足からほぼ1年経ちましたので、中間報告をいたします。

（お問い合わせ）

山形大学渉外部渉外課

（TEL）023-628-4016

ボローニャの会からの提言 (中間報告)

山本陽史 (山形大学教授・ボローニャの会世話人)

はじめにーボローニャの会とはー

ボローニャの会は、山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」の一環として、震災後の東北に生きる私たちがどのように復興と街づくりにかかわっていいのかを話し合うためにはじまりました。

山形県川西町出身の作家・劇作家井上ひさしさんの『ボローニャ紀行』に学ぶためにこの名がつけられています。

どんな活動をしてきたか

昨年 10 月に第 1 回の会があり、それからおおむね月 1 回、平日の夜に 1 時間半の会合を重ねています。年会費も規約もなく、入会脱会自由の会員が自由意志で参加するゆるやかな会です。山形大学教員が事務局を引き受けていますが、会員の大半は学外の様々な年齢と職業をお持ちの一般市民の方々です。

会員有志の発表とディスカッションを基本とし、ときおりゲストを招いての講演などを通して、山形そして東北の街づくりについての提言をまとめようとしています。

来年に最終の提言を発表する予定ですが、発足からほぼ 1 年経ちましたので、中間報告をいたします。

ボローニャの何を学ぶか

井上さんはイタリアの都市ボローニャの街づくりに深い感銘を受け、現地を訪れてこの作品を書きました。

ボローニャは人口四十万人程度の中規模都市で、スパゲッティ・ボロネーゼ（ミートソース）の発祥の地、ヨーロッパ最古の大学があることで日本でも知られています。第二次大戦後の復興にあたり、さまざまな制約と統制を伴うアメリカのマーシャル・プランによる復興資金のイタリア中央政府による交付を拒否し、国に頼らない独自の街づくりを図りました。それは井上さんによると 4 つの原則にもとづいています。

- 1、女性が安心して働ける環境をつくるために、公共保育所を作る。
- 2、中心市街地の歴史的建造物と郊外の緑を保存し維持する
- 3、「投機」を目的とした土地建物の売買はしない。
- 4、市内の職人企業の工場が発展しても大企業化せず、分社化する。

加えて、文化・芸術活動も盛んです。市内には美術館・博物館と劇場がそれぞれ 40 くらい、映画館が 50 くらい、図書館が 70 以上あると言われています。

そして営利・非営利にかかわらず何か事業を起こそうとする場合には、「協同組合」を結成し、横のつながりでことに当たるのが常態化しています。

国に頼らない街づくりは住民が自治や行政に深く関与することにもなり、日本で言う連合町内会のような「地区住民評議会」と呼ばれる組織は、一定の予算を持ち、自治体に近い権限を与えられているのです。

ボローニャの会の現在の議論

(確定した提言ではなく、議論の一端をご紹介します)

上記のようなボローニャのすぐれた点を参考にしつつ、過疎化・少子高齢化や震災の影響のある東北・山形でいま私たちがやっていくべきことは何なのか、会では和やかな中に真剣な討議が重ねられています。現在どのようなことが話題になっているのか、以下に挙げておきます。この内容を基本に提言をまとめていきます。

1. 空き家を街づくりの拠点に

現在全国の家屋の 13 %が空き家になっていると言われています。山形は全国比較では空き家率は実は低い方ですが、空き家を安い家賃で貸し出し、若者のシェアハウスや芸術家集団の拠点として活用するという活動をすでに行っている会員がいます。今後はさらに空き家の利用が進むシステムを構築していくべきです。

2. 東北芸工大・山形大学など高等教育機関の連帯、ポローニャ大との提携による街づくり

ポローニャのように大学が町中に点在し、文化・芸術・産業のバックボーンとしての役割をさらに果たすべきです。

また、ポローニャ大学に学ぶために交流を図るべきです。

3. 地域共同体の成員としての役割を見直す

日本人の生き方は「お上」の指示を疑うことなく従い、他人に自分の行動を合わせるものがしばしばありました。しかし、震災後にはそのような生き方に対して疑問が呈されています。

個人として考え、他者と横のつながりとして連帯して行動していくことによって地域共同体を活性化することにつながっていくのではないのでしょうか。その場合の個人とは「権利」だけを主張するのではなく、共同体の成員としての「義務」、役割を果たすべき存在を言います。

4. 文化の「共同購入」協同組合の再構築

ポローニャであれだけの数の文化芸術施設が維持されているのは、多くの人々が出資したり、会場に足を運ぶ人がいるからです。そのような文化や芸術事業を「採算が取れる」ものとするのが大事です。かつてあった芸術鑑賞団体は著しく衰退していますが、もう一度その良さを見直し、「協同組合」のようなものを再構築してはいかがでしょうか。

5. 文化芸術施設に足を運ぶ・会合でさまざまな人と顔を合わせる

前項と関連しますが、日本人はどうも出不精であったり、見る（聴く）前に評価を決めてしまう傾向があるのではないのでしょうか（本日ご来場の皆様にはあてはまりませんが）。足を運ぶことが文化芸術事業を支えることになります。

また、いろいろな会合にも積極的に顔を出し、Face to Face（フェイス・トゥ・フェイス）で議論する土壌を作ることがこれからの街づくりには欠かせません。

5. 中心市街地の建物などの保存と活用

文翔館の成功例という良き前例があります。まだまだ再活用できる建物があるはずで

7. コンパクト・シティの実現

役所や文化施設・商業施設が中心部に存在するのはヨーロッパの町では普通のことです。パリのような大都市でも主な施設を徒歩で回ることが可能です。中心部と周辺、郊外という諸地域の機能の棲み分けの見直しを行うべきです。

6. 既存の交通インフラの活用

自動車に過度に依存することは鉄道やバス網の衰退を招きます。少子高齢化社会ではお年寄りや障害をお持ちの方、免許を取れる前の若者などの交通弱者をいたずらに増やし、かえって引きこもりを増やすことになってしまいます。

むろんコンパクト・シティの実現のためにもこれらのインフラの活用は欠かせません。

7. 地域固有の歴史・文化・自然・産業資源の価値の見直しと活用

山形交響楽団やモンテディオ山形といった、プロ集団がこの規模の地域に存在していることは世界的に見ても稀有のことです。それ以外にも世界に誇るべき資源がたくさん山形にはあります。これを積極的に活用し、経済や人的交流の活性化に活用すべきです。

8. 歴史・自然・文化的風景に配慮した景観形成

町歩きやの醍醐味は美しい風景に出会う感動に尽きると思います。古木の前に幟（のぼり）を林立させたり、歴史的建造物の前に目隠しになる標識や広告を設置してしまったりして景観を台無しにしてしまうことに鈍感であってはなりません。また、景勝地で無神経な音楽を流したりすることも慎むべきと考えます。

群読隊
【小学生】

阿部 夕珠 矩
石井 輝介
伊真 さくら
真間 暁太
尾形 紗結理
菅野 藍
鬼海 元
工藤 利永
坂井 智人
佐藤 夢
信夫 寿樹利
鈴木 裕也
中西 美文
古澤 大智
望月 米来
矢作 三緒
矢作

【一般】浦山 和香
金澤 妃呂子
新地 映子
佐藤 秀文
為本 正文
中沢 茜
中村 美穂
中村 憲子
春川 法子
古川 富美代
前田 孝
松田 佳恵
水戸部 久美子
山本 隼史

【大学生】阿部 葵咲
大塚 萌水
加藤 文暁
工藤 未来
後藤 綾乃
後藤 齋州
後藤 あゆみ
後藤 涼香
堀出 拓人
武田 真紀
塚田 友理
根本 弥幸
林崎 裕美
藤田 和生
渡邊 佑斗
渡辺 裕介

演奏

オルガン 後藤 あゆみ
※本日使用するオルガンは福島県二本松市立二本松南小学校から借用したものです。
クラリネット 塚田 友理・根本 弥幸
トランペット 山本 隼史

制作

【スタッフ】演出 プロデューサー 佐藤 正文
舞台監督 広瀬 彩
映像制作 畑崎 広和
音響 小根 孝行
制作 井乃 想
制作協力 滝澤 航
オーケヤン

【学生スタッフ】阿部 修平 (広報)
伊藤 翼 (会場)
猪俣 響平 (会場)
大沼 潤己 (記録)
香曾 我部 早紀 (照明助手)
加藤 諭 祐 (記録)
菊地 祐 祐 (会場)
清野 美咲 (舞台監督助手)
久間 木 美咲 (広報)
後藤 史子 (広報)
後藤 由紀 (広報)
佐藤 早希 (会場)
佐藤 真梨奈 (会場)

佐野 亜由美 (会場)
高橋 眞葉子 (会場)
多田 優衣 (会場)
多田 慶希 (会場)
田中 玲奈 (会場)
塚田 友理 (演出助手)
中島 悠里 (記録)
長岡 将 (音響助手)
野川 春香 (会場)
坂西 佳織 (会場)
透見 有里 (演出助手)
渡邊 裕介 (演出助手)

【山形大学事務局】大谷 ゆき
金生 園薫
山川 正敏

【監修】山本 隼史 (山形大学教授)

山形大学特別プロジェクト

「いま、言葉を東北の灯に」
ともしび

第五回山形大学高校生朗読コンクール

群読劇「風の又三郎」

とき 平成24年9月16日(日)
13:30~17:00
ところ シベールアリーナ

主催 国立大学法人 山形大学
共催 公益財団法人 弦 地域文化支援財団

第一部 第五回山形大学高校生朗読コンクール

本選出場者

(課題文: 太宰治『津軽』よりそれぞれ指定の部分)

- 類家 怜菜 (青森県立三本木高等学校)
- 赤沼 涼香 (岩手県立亘古高等学校)
- 池田 夏奈 (山形県立山形北高等学校)
- 佐藤 檀子 (聖ウルスラ学院英智高等学校・宮城県)
- 佐藤 空 (青森明の星高等学校)
- 野藤 今日子 (青森明の星高等学校)
- 小鹿 実森里 (青森明の星高等学校)
- 加藤 志織 (山形県立山形西高等学校)
- 佐々木 南奈 (聖ウルスラ学院英智高等学校・宮城県)
- 齋藤 有里 (山形県立山形北高等学校)

【司会進行】 茨木 隼人 (山形学院高等学校)
佐藤 朋子 (山形大学)

第二部 群読劇『風の又三郎』 (宮沢賢治 原作 / 滝澤航 脚本)

出演

紺野 美沙子 (こんの・みさこ)
俳優・国連開発計画(UNDP)親善大使。1980年、NHK連続テレビ小説「虹」を飾る「ヒロイン役」で人気を博す。大河ドラマ「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」では三女・雪子役を好演。テレビ・映画・舞台と多岐にわたって活躍する。1998年からUNDP親善大使としてアジア・アフリカへの開発途上国を視察するなど、国際協力への分野でも活動し、複製の様子を記した「ラララ親善大使」(小学館刊)を出版。2010年秋より紺野美沙子の朗読劇「をまきし、音巻」や影絵、映像など様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスを定期的に開催、東北支援公演も積極的に行なっている。2012年7月舞台「日本の面影」(俳優座劇場)に出演。

益岡 徹

(ますおか・とおる)

俳優・ナレーター。1956年生まれ。早稲田大学商学部卒業と同時に、仲代達矢氏主宰の無名塾に入り。映画・舞台・TVドラマの幅広い分野でどんな役もこなせる貴重な存在の俳優として風を捲き活躍している。情熱のあるナレーションにも定評があり、ドキュメンタリー番組やラジオドラマ、広告の作品で日本民間放送連盟賞などを受賞。映画「釣りバカ日誌」「三丁目の夕日」「黒川の星」「盲導犬クイールの一生」「聯合艦隊司令長官 山本五十六」「宇宙兄弟」、NHK大河ドラマ「翔がが如く」、朝の連続テレビ小説「はね駒」「はっさい先生」「ワエルのあめ」など出演多数。世界わが心の旅(NHK)等のナレーションを担当。

北川 麗

(きたがわ・れい)

埼玉県出身。小学1年生から池袋師範文化研究所に通う。埼玉県立芸術総合高校舞台芸術科を卒業後、日本大学芸術学部演劇学科演技コースに進学。2011年3月に卒業。大学入学後「ロロ」などの劇団に出演し、自主映画「おとうふ」にヒロイン役として出演。現在は劇団「中野茂樹十フランケンズ」に所属。将来が期待される若手演劇人である。

演出

佐藤 正文

(さとう・まさふみ)

俳優・演技トレーナー。日本大学芸術学部演劇科非常勤講師(演技実習担当)。酒田市生まれ。酒田東高等学校、桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座を経て安部公房スタヂオ創立に参加。のちフリー。1979年『仔象は死んだ』に出演。米国5都市を巡演。俳優座劇場プロデューサー、無名塾、私人会などの公演に多数出演。1996年ロンドンピア大学で開催された安部公房シネマ・ボジウムにおいて、演技術・安部公房システムを紹介。1997年シンポジウム・安部公房『演劇の仕事』及びワーキングショップ『安部システム』を田メンパードにも主催。私塾A.T.ラホ(1985年創立)を主宰。2004年ギョウワシイ演劇コンクールに於いて、演出した『ストレス解消センターまき』が賞優秀賞を、2006年には『救急車』が優秀賞を受賞。スターダスト・プロモーション、aveex等の芸能プロダクションで、演技レッスン担当、多数のスタータレントを育てる。名古屋など地方都市でのワーキングショップを精力的に行っている。



ホーム > お知らせ > 山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯に」ー朗読コンクールと群読劇を実施

お知らせ

新着情報
お知らせ
イベント
入試情報
プレスリリース
学内情報
重要なお知らせ
イベントカレンダー

【お知らせ】

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯に」ー朗読コンクールと群読劇を実施

9月16日(日)にシベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘)において、山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯に」の事業として、第5回山形大学高校生朗読コンクールと群読劇「風の又三郎」が行われました。来場者約300人という大きなイベントの実施には、ポスター制作や群読劇練習、そして当日の会場準備等と、多くの学生が携わりました。

はじめに、結城章夫学長と、共催いただいた弦地域文化支援財団の熊谷眞一代表理事からご挨拶をいただき、朗読が始まりました。

朗読コンクールには、東北各地の高校から148名の応募者があり、予選を通過した10名がこの日の本選に出場しました。課題は太宰 治の「津軽」で、全員が異なる部分を朗読します。心地よい声、イントネーションや間の取り方など、それぞれが練習を積み重ねてきたことを感じさせ、競い合うだけでなく、全員が協力して一つの作品を聴衆に伝えてくれました。

朗読コンクールの受賞者は次のとおりです。

- 一位 :小鹿実森里 さん(青森県立明の星高等学校)
- 二位 :野藤今日子 さん(青森県立明の星高等学校)
- 三位 :齋藤 有里 さん(山形県立北高等学校)
- 会場賞:齋藤 有里 さん(山形県立北高等学校)

続いて行われた群読劇は、酒田市出身の演出家佐藤正文さんに演出をお願いし、紺野美沙子さん、益岡徹さん、北川麗さんの3名の俳優と、山形の一般市民と子どもたち、山形大学の学生等50名が一体となって舞台をつくりました。群読隊は、5月から練習を開始し、小学生から70代の方までと幅広い年代で構成され、本事業を担当した基盤教育院の山本陽史教授もトランペットを持ち、群読隊に加わりました。最後はなりやまない大きな拍手が出演者全員におくられました。



結城学長の挨拶



熊谷代表理事の挨拶



朗読コンクール後の記念撮影(前列右から3名が受賞者)

プレス通知資料（概要）

平成24年10月2日
山形大学

1. 奥の細道マイスター養成講座(初級)のご案内

山形大学では、山形県と協働して、「科学の花咲かせ隊」を養成してきており、今年度からは、新たに文系マイスターとして「芭蕉マイスター養成講座」を開講します。

被災した東北地方を縦断し、芭蕉が俳句を詠んだ各地にマイスターを養成し、観光等のボランティアとして活躍していただきます。

第一日目 「奥の細道マイスター キックオフシンポジウム」

日時: 11月16日(金) 16:00~19:45

場所: 山形大学小白川キャンパス

第二日目 「奥の細道マイスター養成講座」

日時: 11月17日(土) 9:00~16:00

場所: 山寺芭蕉記念館

第三日目 「奥の細道マイスター養成講座」

日時: 11月18日(日) 9:00~15:00

場所: 山寺芭蕉記念館

定員: シンポジウム(一般市民150名 学生150名) マイスター講座20名)

入場料: 無料

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

2. 大学教育改革地域フォーラム2012in山形大学の開催

平成24年8月28日中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」を受け、大学教育の質的な転換を図るため、必要な課題や具体的な取組等について地域の各教育機関、経済人、学生等によるフォーラムを開催します。

日時: 平成24年10月15日(月) 14:00~17:00(13:30受付開始)

会場: ホテルキャッスル(所在地: 山形市十日町)

対象: 大学生、教職員、一般市民

定員: 300名

受講料: 無料

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

3. 氷期-間氷期の気温変動に硫酸塩エアロゾルが寄与していたことを解明

昨日(10月1日)、文部科学省記者会見室にて、北海道大学低温科学研究所から説明がありました。

本研究には、本学理学部鈴木教授も携わっております。

本件の取扱いについては、下記の解禁時間以降でお願いいたします。

新聞: 日本時間 10月4日(木)朝刊

テレビ・ラジオ・インターネット: 日本時間 10月4日(木)午前2時

本件の山形大学の問い合わせ先

山形大学理学部 地球環境学科 教授 鈴木利孝 TEL 023-628-4643

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

4. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので、開催がせまっているイベント

日本コンピュータ化学会SCCJ公開フォーラムを開催

- 新素粒子ヒッグス発見に貢献した光電子倍増管の展示 -

日 時: 10月14日(日) 9時30分 ~ 12時45分

場 所: 山形大学小白川キャンパス(基盤教育棟2号館2階)

奥の細道マイスター 養成講座(初級)のご案内

受講無料
定員20名

山形大学では、山形県と協働して、「科学の花咲かせ隊」を養成してきており、スライムマイスターを始めとする各マイスターは、山形県内はもちろん、被災地に出向いて子供たちを元気にする取組を推進する等、東日本全域で活躍し地域の科学文化の醸成に貢献しています。

今年度からは、新たに文系マイスターとして「奥の細道マイスター養成講座」を開講します。被災した東北地方を縦断し、芭蕉が俳句を詠んだ各地にマイスターを養成し、観光等のボランティアとして活躍していただきます。平成24年度は下記のとおり開講します。

◆平成24年度開講日程(平成24年11月16日～18日)

○第一日目「奥の細道マイスター キックオフシンポジウム」

日時：11月16日(金) 16:00～19:45 場所：山形大学小白川キャンパス(山形市小白川町1-4-12)

日程：16:00～16:30 開講式(マイスター養成講座受講生のみ)

16:30～18:30 講演「俳句とわが人生」 講師：有馬朗人先生(俳人、元文部科学大臣)

18:30～19:45 対談「『奥の細道』の現代的意義」

有馬朗人先生・山本陽史山形大学基盤教育院教授



有馬朗人先生

東京大学理学部卒業。物理学者、俳人。
東京大学総長、参議院議員、文部大臣を歴任。

学校法人根津育英会武蔵学園長、公立大学法人
静岡文化芸術大学理事長。
文化功労賞、旭日大綬賞、文化勲章等を受賞

山本陽史山形大学基盤教育院教授

東京大学文学部。同大学院で日本文学を専攻。
著書に『江戸見立本の研究』『藤沢周平宇の山形』など。
映像作品「奥の細道 百代の過客」、ラジオドラマ「夢は枯野を」等の脚本を担当。
山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯(ともしび)に」の企画担当。

有馬朗人先生

(16日のキックオフシンポジウムのみ) 定員：一般市民150名 学生150名 入場料：無料

○第二日目「奥の細道マイスター養成講座①」

日時：11月17日(土) 9:00～16:00

場所：山寺芭蕉記念館(山形市大字山寺字南院4223)

日程：9:30～12:00 俳句・芭蕉・奥の細道概説(講師：山本陽史山形大学基盤教育院教授)

13:00～16:00 山寺芭蕉記念館・展示物解説講義(講師：相原一士山寺芭蕉記念館学芸員)

○第三日目「奥の細道マイスター養成講座②」

日時：11月18日(日) 9:00～15:00

場所：山寺芭蕉記念館(山形市大字山寺字南院4223)

日程：9:30～12:00 山寺・立石寺の考古学的知見(講師：荒木志伸 山形大学基盤教育院教授)

13:00～14:30 山寺芭蕉記念館・展示物解説実習(受講生による解説実習)

14:30～15:00 閉講式・芭蕉マイスター(初級)認定式



○受講料/無料

○申込方法/裏面受講申込書により郵送またはFAXにて申し込んでください。

○締切/平成24年10月31日(水)

○定員/マイスター養成講座 20名(応募者多数の場合には抽選となります。)

キックオフシンポジウム 150名(応募者多数の場合には抽選になります。)

なお、マイスター養成講座受講決定者は必ず聴講していただきます。)

お問い合わせ先

山形大学渉外部渉外課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL: 023-628-4843 FAX: 023-628-4849

E-mail: k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

奥の細道マイスター養成講座(初級) 受講申込書

申込み内容	1 養成講座(初級)(11月16日～18日)
右の数字の1か2のどちらかに○をしてください。1に○を付けた方はキックオフシンポジウムも受講していただきます。	2 キックオフシンポジウム(11月16日)

[奥の細道マイスター初級の認定を得るためには、1の養成講座(初級)講座の全日程(11月16～18日)を受講する必要があります。]

氏名	住所・連絡先
(年齢 才)	〒 TEL() — FAX() — E-mail:



平成24年10月31日(水)

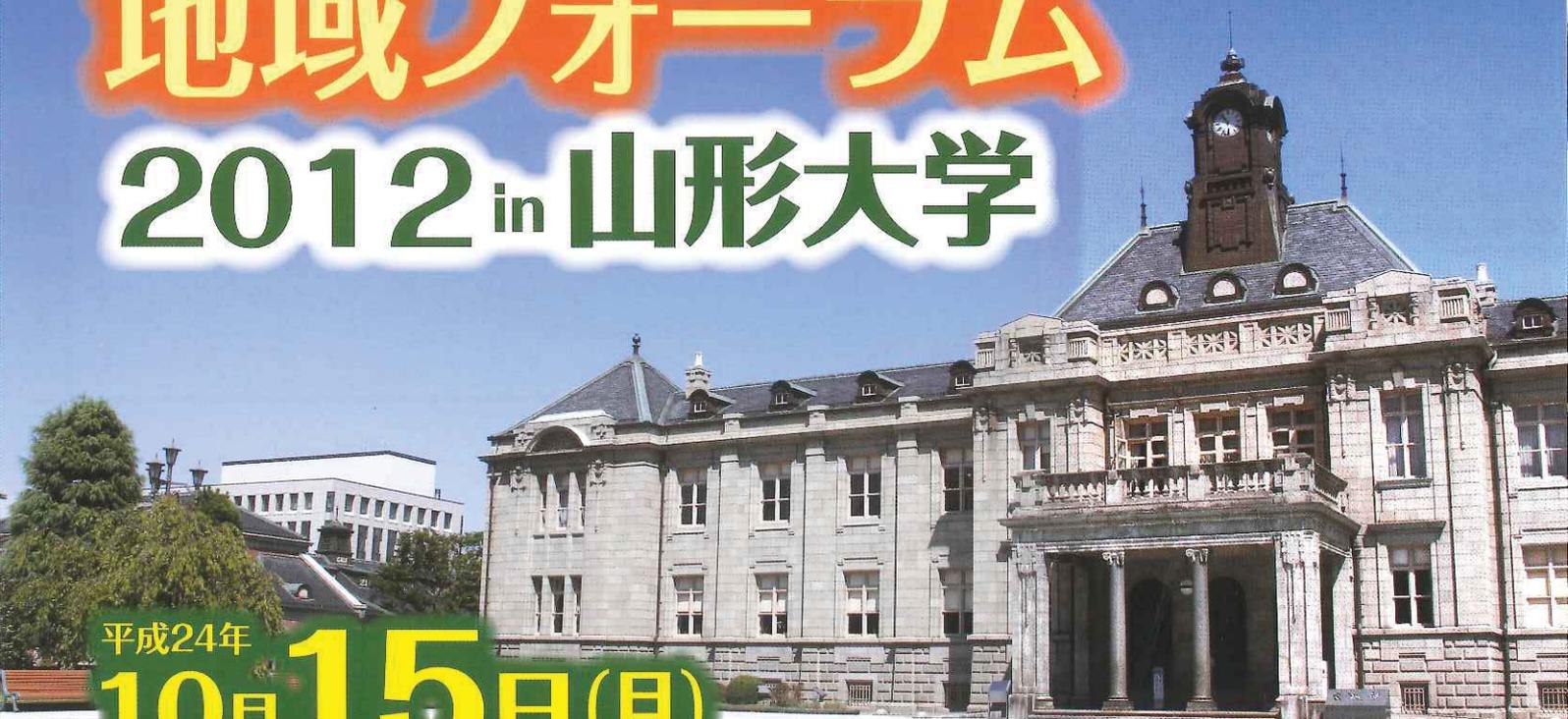
養成講座への応募者多数の場合は抽選となります。

お申し込み先	山形大学渉外部渉外課 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 TEL : 023-628-4843 FAX : 023-628-4849 E-mail:k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
--------	--

共催：山形大学／文部科学省(予定) 後援：大学コンソーシアムやまがた



大学教育改革 地域フォーラム 2012 in 山形大学



平成24年
10月15日(月)

14:00～17:00 (13:30 受付開始)

参加費無料

大学等での学びを通じて 地域課題とどう向き合うか

— 今、高等教育機関は地域に向けて発信する —

中央教育審議会答申(24.8.28)「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」を受け、大学教育の質的な転換を図るため、必要な課題や具体的な取組等について地域の各教育機関、経済人、学生等によるフォーラムを開催します。

フォーラムでは、「地域の課題解決のために、大学等での学びの『質』をどのように『保証』して行くべきか」をテーマに、複数のパネリストによる提言等を踏まえ、大学改革実行プランで謳われる「大学COC(Center of Community)機能の強化」の新たな方向性について議論を展開します。

お問い合わせ先

山形大学エンrollment・マネジメント部政策課 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12
TEL: 023-628-4063 FAX: 023-628-4185 E-mail: enrollment@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会場

ホテルキャッスル「万葉の間」3F

山形市十日町4-2-7 TEL: 023-631-3311

対象

学生・教職員・一般市民

プログラム

13:30 受付開始
14:00 【開会】主催者大学挨拶：山形大学長 結城章夫
14:10 【パネルディスカッション】

〈テーマ〉大学等での学びを通じて地域課題とどう向き合うか
— 今、高等教育機関は地域に向けて発信する —

- ・映像上映：「今、問われる『大学での学び』」(文部科学省制作)
- ・問題提起：パネリスト発表／質疑応答／フロア参加者との討論

〈パネリスト〉

- ・文部科学省 (調整中)
- ・額綱 晃 (株式会社東北博報堂顧問)
- ・柳谷豊彦 (山形県高等学校長会会長・山形県立山形東高等学校校長)
- ・児玉克也 (山形大学の卒業生・(株)山形銀行本店営業部本店第二部長)
- ・山形大学学生
- ・結城章夫 (山形大学学長)

〈モデレーター〉

三上英司 (山形大学理事付スタッフ・地域教育文化学部教授)

16:50 モデレーターによる総括・議論のまとめ
17:00 【閉会】

Photo: 山形市 文翔館

大学教育改革地域フォーラム2012 in 山形大学 〈参加申込書〉

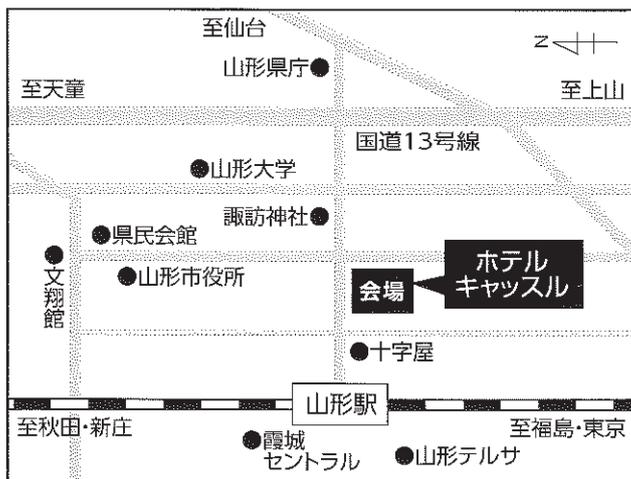
お申込みは、10月10日(水)頃までにE-mail又はFAXでお願いします。
なお、E-mailの場合は、下記の全項目を入力の上、送信願います。

FAX 023-628-4185

E-mail enrollment@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

氏名	ふりがな	年齢	代
所属	連絡先	電話	
		メール	
大学教育改革へのご意見			
氏名	ふりがな	年齢	代
所属	連絡先	電話	
		メール	
大学教育改革へのご意見			
氏名	ふりがな	年齢	代
所属	連絡先	電話	
		メール	
大学教育改革へのご意見			

※個人情報本事業以外には使用しません。



会場

ホテルキャッスル

〒990-0031 山形市十日町4-2-7
URL <http://www.hotelcastle.co.jp>
E-mail info@hotelcastle.co.jp
TEL:023-631-3311 FAX:023-631-3373

日本コンピュータ化学会 主催 SCCJ公開フォーラム

共催・協賛・後援： 化学工学会、高分子学会、触媒学会、日本化学会、日本薬学会、分子科学会、分子シミュレーション研究会、山形県教育委員会、天童市教育委員会、山形市教育委員会、山形大学

今年は
山形で開催

日時：2012年10月14日(日)9時開場
会場：山形大学 小白川キャンパス

無料
(申込不要)

世界最初の学会展示
ヒッグス粒子発見に
天童発の技術貢献！

分子模型「モルタルウ」ミニセットをプレゼント！
さらに先着順のプレゼントあり！



一般の方々に、化学の楽しさを知っていただきたいと願い、公開イベントを企画しました。きれいな分子模型やガラス彫刻、コンピュータグラフィックスは、小学生からお楽しみいただけます。天童市にルーツを持つ技術が、今話題のヒッグス粒子発見に貢献したことも、山形の皆様にお伝えしたいことの一つです。

講演 (9:30~11:30)

(詳しくは裏面をご覧ください)

「ナノ微粒子の魅力 —10億分の1メートルの世界—

栗原 正人 先生

「分子となかよくなるろう！ —アートな分子ワールド探検—

本間 善夫 先生

展示 (11:30~12:45)

「ヒッグス粒子」発見に貢献した光電子増倍管 — ルーツは天童市にあった —

原子からナノスケールの化学現象を計算機でシミュレーション

分子計算支援システムWinmostar — 作者が語る分子計算の世界 —

あ！きれい！原子の中のフシギな芸術NEBULA (ネビュラ) — 1000億分の5メートルの世界 —

特別講演 (9:30~11:30)

ナノ微粒子の魅力 — 10億分の1メートルの世界 — 山形大学理学部 栗原 正人 先生

電子顕微鏡で拡大してしか観察できないナノメートル（10億分の1メートル）ほどの微粒子（ナノ微粒子）が、次世代産業を支える基盤材料として注目を集めています。本講演では、省資源・省エネルギー社会に向けて我が国が推進するグリーン・イノベーションに繋がるナノ微粒子材料とその魅力に迫ります。



分子となかよくなろう！ — アートな分子ワールド探検 — 新潟県立大学 本間 善夫 先生

水、二酸化炭素、キシリトール、ビタミンC、…。目に見えない分子の形と性質の関係は？

小さな分子模型をスタートにその秘密に迫ります。さらに私たちの生命活動を支えているDNAやタンパク質の時には美しく見える姿に迫り、その不思議な世界を一緒に楽しみます。



展示 (11:30~12:45)

「ヒッグス粒子」発見に貢献した光電子増倍管 — ルーツは天童市にあった — 福岡 浩晃 先生(浜松ホトニクス)・須山 英三 先生

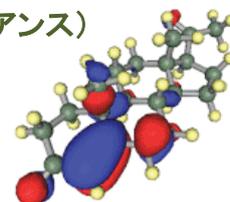
万物に質量を与える素粒子「ヒッグス粒子」の発見には、浜松ホトニクス製の光電子増倍管が貢献しました。この浜松ホトニクスの前身が山形県天童市にあったことから、世界最初の学会展示が山形で行われることになりました。

原子からナノスケールの化学現象を計算機でシミュレーション 千葉 貢治 先生・池田 博隆 先生(株式会社菱化システム)

様々な手法を用いたシミュレーションソフトウェアを展示します。計算機シミュレーションは、電気以外の資源を使用しないため、環境負荷の小さい研究方法としても注目されています。環境にやさしいシミュレーションで世界が直面する環境・エネルギー問題を解決できれば、一石二鳥！！

分子計算支援システムWinmostar — 作者が語る分子計算の世界 — 千田 範夫 先生(ShareTaskアライアンス)

Winmostar は、講談社サイエンティフィク「理系のためのフリーソフト」をはじめ、多数の書籍にも収録される化学の定番ソフトです。天才プログラマー/スーパークリエイターと呼ばれる開発者にお越しいただきます。



あ！きれい！原子の中のフシギな芸術NEBULA(ネビュラ) — 1000億分の5メートルの世界 — 時田 那珂子 先生・時田 澄男 先生(埼玉大学名誉教授)

原子の中を立体的に眺めることは、普通の方法では不可能です。NEBULA（ネビュラ）は、これを可能にする世界で初めての試みです。原子の中は、ビックリするほど美しく芸術的でした。皆様に楽しんでいただければ幸いです。

